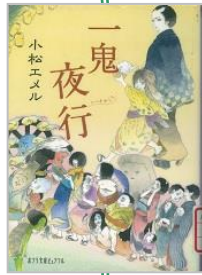


## 「一鬼夜行」

小松エメル／著 ポプラ社

時は明治5年、まだ東京というより「江戸」が色濃く残る街に、古道具屋を営む若商人・喜蔵がいた。その庭先に、ある夜、見かけは10歳位の少年、小春が落ちてきた。自らを「百鬼夜行から落ちた鬼」「大妖怪」と話す小春と、成り行き上同居することになった喜蔵は、さまざまな妖怪沙汰に巻き込まれる。

シリーズ11冊。



## 「空色バウムクーヘン」

吉野万理子／著 徳間書店

体重42キロの小柄な鏡池若葉の夢はお笑い芸人になること。鎌倉の高校に入学して念願の相方の弥生を見つけた。お笑いコンテストに出場しようとはりきっていたが、なんのひょうしかウエイトリフティング部に入部することに。すぐに退部するつもりでいたがなんだかずるといふことになった。

でこぼこコンビの友情とウエイトリフティング部の部員達の成長を描く明るい青春小説。表紙のバウムクーヘンの意味も探って読んでいくといっそう興味深い1冊。

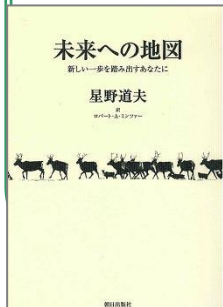


## 「未来への地図」

新しい一歩を踏み出すあなたに」

星野道夫／著 ロバート・A・ミンツァー／訳 朝日出版社

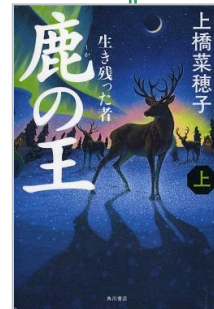
市川市出身の写真家、星野道夫氏は、大学1年生の時、アラスカ・エスキモーの村の空撮写真に魅かれてどうしても行きたくなり、全ての村に「代表者」という宛名で手紙を書きました。そのうち一通だけ返事が届き、ひと夏の滞在を実現させます。雄大な自然に囲まれ、セイウチやアザラシを食べるエスキモーの家族との生活は、楽しくて楽しくて帰国後も忘れられず親友がなくなった事をきっかけにアラスカに戻る決意をします。



## 「鹿の王」上・下

上橋菜穂子／著 KADOKAWA

東乎瑠帝国領のアカファ岩塩鉱を、ある夜突然山犬の群れが襲った。噛まれた人は病を発症し、次々と命を落としていった。帝国に抵抗していたガンサ氏族の戦士団<独角>の頭であったヴァンは、山犬に噛まれたにもかかわらず、唯一生き残った。帝国との戦いに敗れ、奴隷として過酷な労働を強いられていたヴァンは、この事態の中逃亡することにした。しかし、途中で電の中で泣いている幼女を発見。置き去りにすることもできず連れて行くことに。



# YoungAdult通信

新生活応援号



新しい生活が始まる今、  
中学3年生のみなさんにおすすめの本を集めました。

みんな知ってる？  
～図書館の便利な使いかた～

1. 本のほかに、CD3点、DVD2点まで借りられます。
  2. 館内PCやインターネット等から図書館の資料に予約をかけたり、メールで連絡を受けたりできます。  
(初めてログインする時の仮パスワードは生まれの月日4桁です)
  3. 中央図書館では読書席や調べ物用インターネットブースを使うことができます。
- (注) 1～2は市川市在住・在学の方のみのサービスです。

\*初めて図書館利用券を作る時や、3年おきの利用券更新の時には、住所の確認ができるもの(学生証・生徒手帳・保険証など)が必要になります。



市川市中央図書館  
市川市鬼高1-1-4  
Tel.047-320-3346

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/db/1030.html>

YoungAdult 通信は中学生・高校生向けのお便りです。



## 「みかん、好き？」

魚住直子／著 講談社

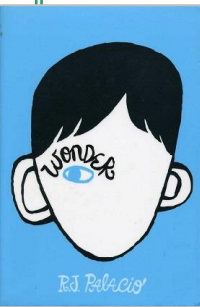
高校1年生の西村拓海は突然、変な方言を使う女の子、長谷川ひなたに「みかん、好き？」と聞かれる。ひなたは、拓海の子いちゃんが作るみかんに感激して東京からわざわざ瀬戸内海の高校を受験したそうだ。子いちゃんとどんどん仲良くなるひなたにつきあって、拓海もみかん畑の世話を手伝うことになってしまう。



## 「ワンダー」

R. J. パラシオ／作 中井はるの／訳  
ほるぷ出版

スターウォーズと本が好きなオギーは、顔を除けば全く普通の男の子。体が弱かったため、生まれてから二十七回も手術をうけ、十歳になってはじめて学校に通うことになった。自分の顔が普通ではないことをよくわかっているオギーにとってそれは大変勇気のいることだった。そして、オギーを取り巻く人々にも様々な影響を与えていく。



## 「あるかしら書店」

ヨシタケシンスケ／著 ポプラ社

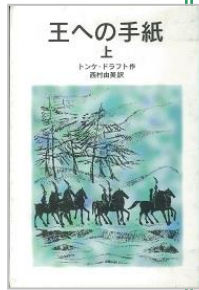
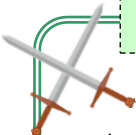
あるかしら書店には今日も色々なお客さんがやってきます。店のおじさんはお客さんの様々な希望にあった本を紹介してくれます。「本にまつわる道具」まであるのに、店になかった本があります。それはどんな本でしょう？



## 「王への手紙」上・下

トンケ・ドラフト／作  
西村由美／訳 岩波書店

十六歳のティウリは、騎士になるため、教会で一夜をすごす最後の試練を受けていた。しかしその最中、助けを求める声が聞こえ、ティウリは無視できず、きまりを破りその声に応じてしまう。声の主から王国全体の安寧がかかっているという手紙を託され、そのまま隣国へ旅立つことに。続編『白い盾の騎士』上・下もあります。



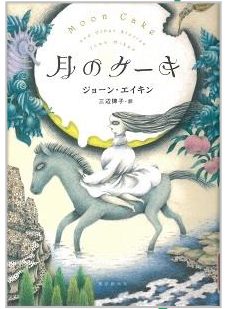
## 「月のケーキ」

ジョン・エイキン／著 三辺律子／訳  
東京創元社

祖父の村で暮らすことになったトムはミセス・リーから頼まれて月のケーキを作ることになる。

その材料は、桃にブランディにクリーム。タツノオトシゴの粉、グリーングラスツリー・カタツムリ。不思議な材料で作るケーキにまつわる秘密とは？

他にも奇妙な13編のファンタジー短編集。



## 「失われた世界への時間旅行

### 冒険考古学 13歳からの考古学」

堤隆／著 北住ユキ／画 新泉社

中学生の隼人はスマホの不思議なサイトから旧石器時代や縄文時代にタイムスリップをして、刺激的な原始生活を体験する。そして、現代へ戻り、遺跡発掘の手伝いをするうちに、考古学の魅力にひきこまれていく。著者の熱い考古学への思いがわかる1冊。



## 「101人が選ぶ「とっておきの言葉」」

河出書房新社／編 河出書房新社

小説家、芸人、声優、スポーツ選手、起業家などさまざまな分野で活躍している101人が選んだ「とっておきの言葉」を理由とともに紹介。「心に秘めている言葉」や「ふと思いつく言葉」などそれぞれの方の思いや歩んできた道がかいまみれます。



YA イメージキャラクター  
「読書キュー」



YoungAdult+通信  
新生活応援号